

住民自治協議会

#42 中原まちづくり協議会

津屋城でこさん



毎年旧暦10月15日に
子どもたちがでこさん(代官の人形)を
担いで家々をまわります。



サロン名決定! 中原「サロン和楽話」
地区の誰かが集い、語り、和む、交流の場として
7月にサロンを始めました。

『中原まち協は、「中原号」をどこへ導くか?』——その心は、防災と福祉が基でしょう!!

中原まち協では、これまでも「防災と福祉」を最大のテーマにして活動を展開してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、これまでのような行事・イベントができなくなり、その体質を見直さざるを得なくなっていました。

まち協、自治会、公民館が一体化した新たな組織のもと、「防災と福祉」を基本に据えつつ、新しいまち協の「スタイル」を追求する必要があるということに他なりません。それは、これまで以上に地域の「声」「知恵」「力」を集結して「正しい進路を探る」ということです。

すでに新しいチャレンジが始まっています。新しいスタイルの「中原カフェ」の開

組織や行事の中身は変わりつつも、子どもから大人までの「地域の絆が原点」という思いは変わらず、「声と知恵と力」を出し合う『中原号』は、「これからの元気で明るい中原」に向かって、夢と冒険の旅を続けます。

催「運動会にかわるミニスポーツ大会」「文化祭」「地域発見ハイキング」等です。

防災では、「中原から一人の犠牲者も出さない」を合言葉に防災活動に取り組み、「防災に関する知識の吸収」の期間を経て「自宅から避難所まで無事にたどり着く」ために「家具固定キャンペーン」「避難ルートマップの全戸配布」を終えるところまで進んできました。これからは更に「避難行動要支援者」の支援体制の確立を急ぎ、「実際の避難行動訓練」「避難所運営訓練(HUG)」などに取り組む計画を進めています。



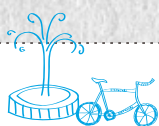
防災タウンウォッチング
7月8日に自分の住む地域を歩いて、
危険箇所等をチェック。防災マップを作りました。

お知らせ

小学生との 農業・食・交流事業



毎年5月～2月に田植え、稲刈り、もちつき、しめ縄づくり、芋苗植え、芋掘りなど年間を通じた体験と地域の人との交流で、農業(自然)の大切さ、感謝の気持ちを伝え、学んでいます。



活動紹介



6年生と長寿会の 異世代交流会

毎年11月頃に長寿会と小学校6年生がグランドゴルフ大会で楽しく交流します。プレー後は、一緒に食事会をしていましたが、今は手作りのお弁当が配られます。



むつみ園で トレーニング

防災協定も結び、地域に貢献いただいている「むつみ園(社会福祉法人)」に、施設を開放していただき、体力づくりに励んでいます。



あいさつ運動と 見守り隊

長寿会が毎朝の登校時に見守りをを行っています。また毎月、校門前であいさつ運動を実施。元気な声で「おはようございます!」が飛び交います。